



道立図書館通常開館とオープニングイベント

平成31年4月2日、アスベスト除去工事が終わり通常開館を再開しました。当日はクリアファイルの配付や休館中の写真展など、オープニングイベントを開催しました。(詳細は特集でご紹介します。)

目次

- ▶ にれ「図書館のカタチ」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ▶ 特集「オープニングイベント」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～7
- ▶ 図書館紹介「“新しい”図書館に会いに来てください。」
札幌市図書・情報館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8～12
- ▶ 活動報告
 - 「道立図書館・道立近代美術館連携事業」・・・・・・・・・・・・ 13
 - 「道立図書館・北海道議会図書室連携展示」・・・・・・・・・・・・ 14
 - 「展示を振り返って」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15～16
 - 「北方資料書庫ツアー「あなたもタイムトリップ～北方資料の世界～」」・・ 17
 - 「令和元年度（2019年度）全道図書館新任職員研修会」・・・・・・・・ 18
 - 「令和元年度（2019年度）全道図書館中堅職員研修会」・・・・・・・・ 19
- ▶ 最近の出来事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- ▶ 令和元年度（2019年度）上半期の事業一覧・・・・・・・・・・・・・・ 21
- ▶ 掲示板・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22～23

「図書館のカタチ」

北海道立図書館長 岩 渕 隆

以前、TSUTAYA の経営会社が佐賀県武雄市の市立図書館の指定管理を受け、館内にスターバックスコーヒーのある公立図書館を誕生させた斬新な試みが、マスコミでも大きく取り上げられ話題になりました。昨年、江別市にオープンした蔦谷書店も、2階吹き抜けの天井高くまで配置された書架に大量の書籍を並べ、階段や回廊の立体的空間演出により、まるで海外の図書館のような雰囲気を出し、書店内にカフェや飲食店、アウトドアショップ、生活雑貨店が混在するという、とても先進的な大型書店となりました。公立図書館と書店の違いはあるものの、どちらも本を中心とした魅力的な空間であることは間違いありません。

一方、道内の公立図書館にも新しい風が吹いてきました。昨年10月に札幌市中心部の複合ビル内にオープンした札幌市の図書・情報館は、貸出しはしない、小説は置かないなど、斬新なコンセプトでオープン以来、都市型の新しい図書館サービスのスタイルで高い人気を博しています。

では、道立図書館はどうなんだ？との声が聞こえてくるようです。半世紀を経て施設の老朽化が進み、地理的にも不便であることは否めませんが、ただ古いだけの図書館にはなりたくありませんし、そうならないために地道ではありますが様々な取組を続けております。

特色のある公立図書館として、例えば神奈川県立川崎図書館では会社の歴史をまとめた「社史」の蔵書が日本一となり、「社史」といえば川崎図書館と呼ばれるまでになりました。当館も開架書庫入口に社史コーナーを設けていますが、何と言っても当館の特色としては、開拓以来の北海道の歴史資料です。昨年は北海道と命名されて150年目の年を記念する事業として、全道各地の懐かしい映像フィルムをDVD化して、市町村や道民の方に貸出しをする取組を始めました。

また、来春には当館に隣接して北海道立文書（もんじょ）館がオープンします。当館とは渡り廊下でつながり、新築された建物の一部を当館の北方資料室として共用することとしております。

これにより、多くの歴史的文化財や古文書を収蔵する道立文書館と、知里幸恵ノートをはじめ、北海道の歴史資料を所蔵する当館とがワンストップでサービスを提供できるとともに、お互いの施設の特色を生かした相乗効果も期待されているところです。

近年、全国的な傾向として公立図書館が特色を生かしつつ、いろいろなカタチに変わりつつありますが、当館のコンセプトである、図書館のセンターとしての「図書館の図書館」、参考図書館としての「何でもわかる図書館」、そして全域サービスとしての「道民みんなの図書館」という3つの基本方針と、まもなく創設100年を迎える歴史と伝統を守りつつ、成長する有機体として、時代の変化に対応した図書館の新しいカタチを模索し、図書館機能のさらなる充実に努めて参りますので、皆様のご理解とご利用を心からお待ち申し上げます。

オープニングイベント

平成29年10月18日（水）からアスベスト除去工事のため休館していましたが、図書館内を一部リニューアルして、平成31年（2019年）4月2日（火）から通常開館を再開しました。

この再オープンを記念してオープニングイベントを開催しました。

■オリジナルクリアファイルの配付

4月2日（火）9時からの通常開館開始に際して先着100名様に道立図書館オリジナルクリアファイルをプレゼントしました。予想を超えるご来館があり、午前中には配付を終了しました。

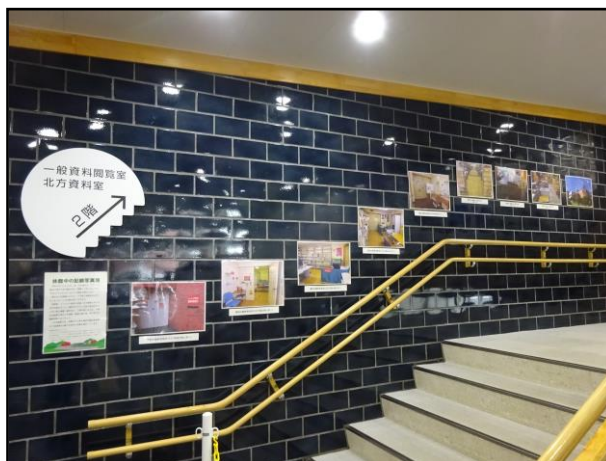


■缶バッジづくり

4月7日（日）10時から16時にえほんコーナーで「作って もらおう！缶バッジ」を開催しました。道立図書館オリジナルデザインや、自分で描いたイラストを缶バッジにするこのイベントは、たくさん子どもたちに楽しんでもらえました。

■休館中の記録写真展

4月2日（火）から6月30日（日）までの期間、休館中の工事や館内の様子を、写真で振り返る展示を開催しました。好評につき、当初予定していた期間を延長しての開催となりました。



(事業プロジェクトチーム)

■一般資料閲覧室レイアウト変更を終えて

2階一般資料閲覧室では、アスベスト除去工事に併せて2か所の壁を取り払い、ワンフロア化する工事を行いました。

まず、閲覧室等にあった全ての資料を、第二書庫1層に移動することになりました。資料約8万冊と新刊予定資料の物量をファイルメーター（資料を積み上げた厚み）で測定し、移動先に収納されている新聞原紙を、利用頻度を勘案しながら館外へ搬出しました。その後、閲覧室から職員がブックトラックで資料を運び出し、業者により閲覧机、椅子、書架、カウンター、端末等を全て館外に搬出しました（写真1）。

また、老朽化や撤去した壁側の書架は、北海道立文書館から譲り受けた書架16本と交換することになりました。これを機に壁の撤去部分を中心としたレイアウトも見直すことになりました。変更前と同じ収納スペースを確保する点で工夫が必要でしたが、次のような変更を行いました。



写真1



写真2



写真3-1

【主な変更箇所】

- 壁側の雑誌架を1か所に集約（写真2）
- 医療健康情報コーナーの移動（エレベータ入口付近へ）
- 壁撤去による展示スペース・文書館連絡通路スペースの確保（写真3-1 工事前の個人閲覧室（左）と壁（右））
- 1階エントランスにあった北方資料室の展示ケース2台を移動（写真3-2 工事後の新北海道立文書館への通路〈来年度開通〉と当館との接続部分。左側は個人閲覧室）
- 新聞縮刷版の棚をカウンター・コピー機付近に移動



写真3-2

- 2階子どもの本コーナーの壁を撤去した場所に、1階エントランスにあった読書案内・学校図書館支援コーナーを移動
- 車椅子の方が利用できる高さ調節機能のある机を導入
- 床カーペットの貼替え（写真3－2緑色は文書館への誘導のため）

長期間ご不便をおかけしましたが、以前より少しでも利用しやすい場所となればと思います。

来年4月に隣接してオープンする文書館と渡り廊下でつながる予定です。今後も利用する皆さんの動線なども考えながら、案内等の改善を進めてまいります。

（一般資料サービス課）

■蔵書票の展示&講演会

4月2日（火）から5月6日（月）まで、研修室において、道立図書館所蔵の蔵書票を公開する貴重資料特別展示「世界の蔵書票」を開催しました。

これらの蔵書票は、平成4年に札幌で開催された第24回世界書票会議の一連の行事として行われた「世界書票作家展」に出品された作品です。平成3年から4年の間に制作された964点が、展覧会終了後に道立図書館に寄贈されました。



貴重資料特別展示「世界の蔵書票」

蔵書票は芸術性が高く、美術品としても高い評価を得ており、「紙の宝石」として収集交換の対象とされています。広く国内外から集まった書票に、来場者の皆さんは、すっかり魅了された様子でした。

会期中の4月20日（土）には、日本書票協会北海道支部長の原滋氏から、蔵書票の魅力について解説していただく講演会「蔵書票の魅力」を開催し、32名の参加を得ました。現存する最古の書票である、15世紀中ごろにドイツで作られた「ハリネズミの書票」など、具体的に作品や作家を紹介しな



講演会「蔵書票の魅力」

がらの講演は、大変興味深く、講演会終了後に改めて作品を見直す方々が見受けられました。

所蔵資料から選んだ関連図書・雑誌も併せ、多くの方々に蔵書票の世界を楽しんでいただきました。定例の資料展示とはまた異なる趣に、今まで来館したことのない方々からも興味・関心が寄せられ、当館に足を運んでいただく良い機会となりました。

(一般資料サービス課)

■平成の30年を振り返る展示を行いました

改元の節目を迎えるにあたり、一般資料サービス課、北方資料サービス課の両課で「平成の30年を振り返る」展示を実施しました。

【一般資料室展示「平成の30年を振り返る」】

期 日：4月2日（火）～5月30日（木）

会 場：一般資料閲覧室

一般資料室では、平成に多く読まれたベストセラーをはじめ、平成にヒットした絵本、今もなお読みつがれている不朽の名作など、平成の30年間を振り返る本を幅広く展示しました。

2階一般資料閲覧室では、平成の主なできごとや事件をまとめた年表を本と一緒に掲示したところ、多くの方が足を止め、展示をご覧になる姿が印象的でした。

また、新元号「令和」の出典となった万葉集関連資料は常に貸出中となるなど、大変ご好評をいただきました。道立図書館では今後も、時事的な内容・関心の高いテーマを中心に展示を行っていきます。

(一般資料サービス課)



【北方資料所蔵資料展「平成の30年を振り返る —平成北海道の喜D○哀楽—」】

期 日：4月2日（火）～5月6日（月）

会 場：一般資料閲覧室北方資料展示コーナーほか

北方資料室では、平成年間に起こった道内のさまざまなできごとを、「喜（喜びにみちた北海道）」「D○（未来へはばたく北海道）」「哀（悲しみをのりこえてきた北海道）」「楽（楽しみあふれる北海道）」に分け、それぞれに四つのトピックをあげて、所蔵資料で振り返りました。

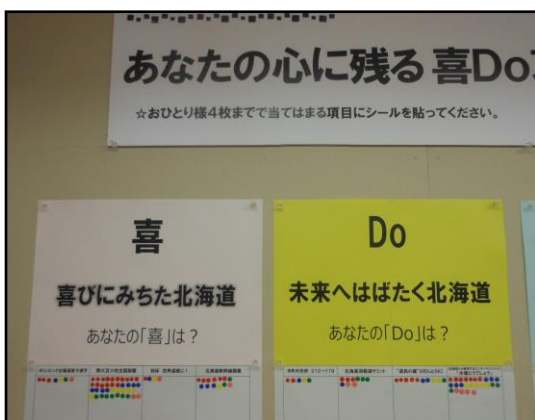


道内出身のオリンピック出場選手の活躍、市町村の合併、火山の噴火や地震、水害など続発した災害、北海道にプロスポーツチームが誕生したことなど、当時の息遣いと移りゆく時代が感じられる資料を集めてご覧いただきました。

また、参加企画として「喜」「D○」「哀」「楽」の展示の中から心に残るできごとにシールを貼るコーナーを設けたところ、318枚ものシールを貼っていただきました。そのうち、約20%近くと最も枚数が多かったできごとは、北海道胆振東部地震（哀）でした。昨年（平成



30年）9月6日未明に起こった、多くの人命を奪い、甚大な被害をもたらすとともに、北海道全域で発生した未曾有のブラックアウトが大きな問題となった地震は、来館された皆さんの心に深いつめあとを残していることを改めて感じさせられた結果となりました。



次には、「甲子園で駒大苫小牧高が全国制覇」（喜、約16%）、「プロスポーツが北海道にやってきた！」（楽、約13%）が続きました。

このほか、北方資料閲覧室前の北方資料コーナーでは、平成の30年間に多く利用され親しまれた北海道文学の作家13名を選んで蔵出しの作品を並べるとともに、北方資料室にもミニコーナーを設け、貸出可能な関連資料を展示しました。

久しぶりの開館で多くの方にご覧いただき、去りゆく平成に思いをはせていただけたようでした。

（北方資料サービス課）

■北方資料室書庫ツアー「書庫探見・鉄道資料で見る北海道の歴史」

期 日：4月20日（土） 14：00～16：00

会 場：研修室、第一書庫

北方資料室では、人気が高く、毎回満員を記録する鉄道資料に関する書庫ツアーを行いました。3年ぶり3回目となる今回は、23名にご参加いただき、オープニングにふさわしいにぎやかなツアーとなり、大変好評でした。

北方資料室は、北海道・旧樺太・千島に関する30万点を越える資料を収蔵しています。中には書店では見られ



ない行政資料や文書類などの資料も多数あり、これらの資料は普段は書庫の中で保管していることから、書庫ツアーは、こうした資料を間近にご覧いただける貴重な機会でもあります。

ツアーに先立ち、鉄道資料に関する基礎知識として、開拓期を支えた鉄道、北海道の鉄道の歴史、当館が所蔵する鉄道資料、今回の書庫ツアーで紹介する鉄道資料群（特殊コレクション）について、研修室でスライドを見ながら事前学習をしていただきました。

書庫では、まず、明治時代から現在までに発行された地形図などの地図類、戦時中の津軽要塞司令部検閲済の発行許可印が物々しい函館駅の構内配線図が記された『停車場平面図』などの貴重な資料、道内の鉄道線建設概要資料などを紹介しました。

続いて雑誌を収蔵しているフロアでは、定番の時刻表に加えて、国鉄札幌鉄道管理局の日報資料『局報』を、明治時代の分を含めて保管していることに参加者から感嘆の声が上がりました。

最後に、特別コレクションや貴重書を収蔵しているフロアに移動し、今回の目玉である、北海道庁殖民課軌道係の文書綴『殖民軌道』などの行政文書類をご覧いただきました。

珍しい資料に皆さん興味津々な様子で、小学生の参加者にも最後まで楽しんでいただきました。

(北方資料サービス課)

“新しい” 図書館に会いに来てください。

札幌市図書・情報館 館長 浅野 隆夫

開館以来、道内図書館の方々も含め、多くの方々に来ていただいて、うれしく思っています。今回は「いろいろ聞くけど、どんな場所なのかな?」「今度、行ってみようかな?」と思っている方々にぜひ来ていただきたい、と筆をとりました。

「おしゃべりOK図書館」?

開館前、初のテレビ取材にあたり、計画を丹念に説明しましたが…、楽しみにしていた新聞のテレビ欄で見たタイトルは「おしゃべりOK図書館」。その後、次々と紹介された言葉は「本を貸さない図書館!」「小説がないって図書館ですか?」「コーヒーが飲めるんですって?」でしたが、それらはそのこと自体が目的ではなく、私たちが計画で想定した利用者が快適に過ごし、求められる情報をいつでも入手しやすいようにするために必要だったことでした。以下、ひとつひとつ紹介していきます。

「仕事や暮らしに役立つ」都心のライブラリー

札幌市図書・情報館はオペラも開かれる札幌文化芸術劇場(hitaru)、文化活動を支える札幌文化芸術交流センター(SCARTS)と併せ、「札幌市民交流プラザ」の一角に2018年10月7日オープンし、おかげさまで毎日多くの方に利用されています。

この立地はオフィスが密集し、働く人々が集いやすいエリア。その地域性を活かし、コンセプトを『仕事や暮らしを助ける課題解決型図書館』と決めました。提供する本のテーマを Work (仕事に役立つ。約2万5千冊)、Life (暮らしを助ける。約1万冊)、そして、Art (芸術に触れる。約5千冊) に絞り、文学や児童書、絵本のコーナーを置かず、サービスの内容を厳選する代わりに質を高めていくことを目指しました。



札幌市民交流プラザ外観



仕事に役立つWORK コーナー

働くひとたちに使い出のある空間づくり

ピアノジャズの名盤など心地よい音楽が流れる館内は、1階がサロン空間と北海道・札幌の魅力を伝えるエリア（約30席）、2階はWork、Life、Artのエリア（約170席）に分かれ、1階の隣にはカフェがあり、コーヒーを図書・情報館に持ち込むことはもちろん、こちらの本をカフェに持ち込むこともできます。

メインとなる2階の席は、1人でパソコンを使いながら企画書の作成ができるようなワーキング席（1人用）、複数でちょっとした相談もできるグループ席（2人から4人）、打ち合わせに使えるミーティングルーム（5人から12人）を用意しました。すべて、無料の電源や無線LANを完備し、自由にお使いいただけます。

打ち合わせが進むよう「図書館ではお静かに」とはせず、館内での自然な会話は自由としています。ただ、どなたも時には集中したいお時間はあると考えて、静かに利用していただくリーディング席（1人用、会話・パソコン、新聞閲覧不可）も用意しました。

これらの座席の半分は図書館では珍しく予約席。ネットで一週間前から予約が可能ですので、スケジュールを大事にするビジネスパーソンが「図書館に行ったのに席がなかった」ということがないようにしています。（最大90分利用可能）

残りの半分は気軽な雰囲気でも存分に本を読んでもらえるよう、自由席としました。色とりどりのデザイン性の高い椅子を配置したり、本棚と本棚の間にベンチをつくったり、飲み物の持ち込みOKと併せて、「あそこで本を読みたい」と思ってもらえるような楽しい雰囲気も演出したりしています。また、平日は夜21時まで開館。お仕事帰りにゆっくりと利用していただけるほか、快適性にも気を配り、ビジネスユースにもふさわしい上質な環境を生み出しています。



グループ席

最新の情報をたっぷりお届けします。

変化の激しいビジネスの情報は最新のものとないと価値が感じられないものです。通常の図書館では、本によっては借りられるまでに数か月お待たせしてしまうこともあります。図書・情報館では、いつでも最新の情報を活用いただくため、貸出しはせず、館内でお読みいただくスタイルとしました。それにより、予約待ちはありません。

ぱっと見てもわかりにくいですが、図書・情報館がひとを集める最大の特徴は一般的な図書館の本の並べ方をせず、テーマごとに本を整理していることだと思います。テーマは面白そう、読んでみたいと思ってもらえるよう言葉を和らげたり、問いかける表現をしたりするなど工夫しています。

通常の図書館であれば日本十進分類法に沿って「自然科学」「社会科学」「言語」などの分類ごとに並んでいるところ、例えば「文章上手になりたい!」「上司の苦悩」「出会いもあれば…(離婚の棚)」「誰か教えて!(恋愛の棚)」などのテーマで本が並んでいます。

当館の16人の図書情報専門員(司書)が、テーマを決めてから本を選び、手に取りやすいように並べる。これも従来の公共図書館ではやってこなかった新しいチャレンジです。

充実の新聞、雑誌コレクション

本は内容が豊富ですが、タイムリーな情報をつかむには新聞や雑誌が力を持っていると思います。新聞は約90紙をコレクション。ほぼすべてが業界新聞です。「ブライダル産業新聞」「パンニユース」「アイスクリーム流通新聞」そして「全国きこの新聞」まで。

どなたも自分の業界は詳しいと思いますが、他の業種はいかがでしょうか。インターネットで検索をしても出てくるのは無料の情報ですから、その濃さは自ずと限られそうです。こちらでさまざまな業界のこともお知りになって、話題を豊富にして、ひろく業種を越えて交流を広げてほしいという願いも込められています。

また、雑誌は個人では手に入らない、業界団体が発行しているものを多くコレクション。

「こんな新聞や雑誌があったんだ」という驚きの声もよく聞かれます。



養肉業界などの珍しい雑誌も

課題解決型図書館とは

2階フロアの中央には「リサーチカウンター」を設置しています。ここでは、「このような本を探したい」「この業界の状況を調べたい」といったご相談をいただき、毎日調べるお手伝いをしています。忙しくて情報を探している時間のないビジネスパーソンの時間を節約します。

情報提供までが図書館のサービスですが、さらに創業、起業や販路拡大、事業継承、資金調達などでお悩みの方には、本格的なご相談につなげる体制もつくっています。現在は、専門機関である「北海道よろず支援拠点」「日本政策金融公庫」「札幌市中小企業支援センター」「法テラス札幌」の無料相談窓口を随時設置しています。

ややもすると、知りたいことや課題は、はっきりとしない、もやもやとしたものではないでしょ

うか。本や情報からその課題を明確化できれば、あとは当館での専門家による相談窓口やセミナーを通して解決のお手伝いをする、というのが当館の考える課題解決型図書館の姿です。



リサーチカウンター

ご来館をお待ちしています！

マスコミで語られる図書・情報館に対しては冒頭にあるような言葉が登場することが多いのですが、来ていただければその意味あいやひとりひとりの司書の工夫が手に取るように感じられると思います。

まずは、ぜひ本棚の工夫を見ていただきたいですし、調べものについてはカウンターにいるスタッフにお気軽にお問合せいただければ嬉しいです。新しいサービスをお考えの図書館員の方には、ご相談いただき、当館の工夫を取り入れていただけたらこれほどの幸せはありません。

ぜひ、ご来館ください。お待ちしております。

これからの図書館のあり方を示唆する先進的な活動を行っている
機関に贈られる「Library of the Year 2019」の優秀賞に、
札幌市図書・情報館が選ばれました。

受賞おめでとうございます！

道立図書館・道立近代美術館連携事業

昨年度に引き続き、道立図書館・道立近代美術館相互の利用者サービスの向上を図るため、近代美術館で開催する展覧会に併せ、美術館内に当館の蔵書を紹介するコーナーを設置しています。

展示場所や展示方法等、美術館の担当者と試行錯誤を重ねながら展示を行い、1年が経ち多くの方にご覧いただき、ようやく蔵書コーナーが定着しているように感じます。

今年度は、「相原求一朗の軌跡—大地への挑戦—」から始まり、「東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展」、「カラヴァッジョ展」、それぞれの展覧会に関連する図書のほか、雑誌や図録等の貴重な資料も展示しました。



近代美術館の蔵書展示棚



ちょっとアートな夏祭りの工作

また、夏休み期間に併せて開催した子ども向けの「ちょっとアートな夏祭り」では、1階ホール特設コーナーにスタンプを使ったオリジナルの絵はがきや、おめん、うちわを作成するコーナーを設け、工作の本や夏に関する絵本を並べました。子どもだけでなく、大人も一緒に工作したり、親子で夏祭り気分を味わうことができ、大変好評でした。

今年度、残り3回の展示についても、より展覧会鑑賞を深められるよう関連資料を集めるとともに、当館の蔵書について、より多くの方に関心を持っていただけるよう工夫していきます。

(一般資料サービス課)

道立図書館・北海道議会図書室連携展示

道議会図書室においても、当館の蔵書を紹介する展示コーナーを設置しています。

今後も旬なテーマを考え、展示していきます。

■「平成から令和へ—花開く新時代—」

期 日：令和元年（2019年）

5月7日（火）～5月31日（金）

改元にちなみ、1300年続く元号の歴史や出典となった万葉集に加え、皇室や行幸啓誌、20年ぶりに刷新される紙幣の歴史や肖像に関連した資料をご紹介します。



「平成から令和へ—花開く新時代—」

■「北海道みんなの日」

期 日：令和元年（2019年）

6月17日（月）～7月31日（水）

道議会図書室では、「北海道みんなの日」（7月17日）に併せて、道議会のあゆみをたどる年表や、現在建設中の新道議会庁舎の模型、道議会庁舎の変遷を紹介した写真パネル等を展示しました。

北方資料室では、この展示に協力し、北海道に関わる資料36冊を貸し出しました。



「北海道みんなの日」

■「防災力を身につける」

期 日：令和元年（2019年）

9月2日（月）～10月4日（金）

北海道胆振東部地震から1年が経ちます。身近に起こりうる災害から身を守るために日頃からの備えや非常時にも役立つ資料を幅広くご紹介しました。また、一般向けの防災関連資料リストも作成しました。



「防災力を身につける」

（一般資料サービス課・北方資料サービス課）

展示を振り返って

令和元年6月から9月までに館内で行った展示を紹介します。

■えほんコーナー（1階）

「読んで 歌って 音を楽しむ絵本」

期 日：令和元年（2019年）6月1日（土）～7月30日（火）

7月1日（月）の日本童謡協会が制定した「童謡の日」に併せて、親子で一緒に歌いながら楽しむことのできる「うたあそび絵本」のほか、楽器が活躍する絵本や楽譜が載っている絵本など、音楽が登場する絵本を展示しました。

「北海道青少年のための200冊」

期 日：令和元年（2019年）

7月20日（土）～8月29日（木）

北海道青少年育成協会が中心となり選定した「北海道青少年のための200冊」の展示です。北海道日本ハムファイターズ読書促進全道キャンペーンの期間中でもあり、多くの貸出しがありました。



■一般資料閲覧室（2階）

「令和から始める！〇〇」

期 日：令和元年（2019年）6月1日（土）～7月30日（火）

新元号「令和」がスタートし、新しい気持ちで何かにチャレンジできる、いい機会であるといえます。仕事やスキルアップの入門書から趣味や実用書まで、幅広く暮らしに役立つ本を集めました。

「人生100年時代」

期 日：令和元年（2019年）

8月1日（木）～9月26日（木）

先進国では2007年生まれの2人に1人が100歳を超えて生きる「人生100年時代」の到来が予測されています。高齢化社会の中で現役時代を超えてもすべての人が元気に活躍し続けられるヒントとなる本を集めました。



（一般資料サービス課）

■一般資料閲覧室北方資料展示コーナー（2階）

『なつぞら』の舞台、十勝を楽しむ

期 日：令和元年（2019年）

5月8日（水）～6月27日（木）

戦後の十勝地方が舞台となっている、NHK朝の連続テレビ小説「なつぞら」にちなみ、当館所蔵資料の中から、戦後の十勝の様子が分かる本や、十勝の見どころ食べどころを紹介した本を展示しました。また、ドラマに出てくる登場人物を彷彿とさせる、実在の人物に関する資料を集めて紹介しました。

また、北方資料室入口にミニコーナーを開設して、貸出しが可能な十勝の魅力を感じられる写真集やガイドブックを展示し、自由に手にとってご覧いただけるようにしました。



北方資料展示コーナーの展示



ミニコーナーの展示

「HOKKAIDO×SPORTS～スポーツで読む北海道～」

期 日：令和元年（2019年）

6月29日（土）～9月29日（日）

北海道で初めて行われたスポーツや、運動会の元祖といわれている札幌農学校の遊戯会、本道で生まれ全国へ広がったパークゴルフ、ゲートボールなどの新しいスポーツ、昭和47年（1972年）に開催された札幌冬季オリンピックなど、本道のスポーツの歴史を当館所蔵資料で紹介しました。

また、道内出身のスポーツ選手や道内のスポーツチームに関する資料など、貸出可能な資料も、北方資料閲覧室にミニコーナーを設けて展示しました。



北方資料コーナーの展示

（北方資料サービス課）

北方資料書庫ツアー

「あなたもタイムトリップ～北方資料の世界～」

日 時：令和元年（2019年）6月8日（土） 14:00～16:00

会 場：研修室、第一書庫

参加人数：18名

幕末から昭和時代にかけて出版された北方資料を北海道の歴史とともに紹介し、18名の方にご参加いただきました。

最初に、北方資料室や北方資料の概要を説明した後、第一書庫に場所を移し、2層から地層まで収蔵している資料の概要を説明しながら案内しました。松浦武四郎の『東西蝦夷山川取調図』等の古い地図や、開拓使が発行



した『北海道開拓雑誌』等の雑誌、北海道が舞台のひとつだった黒澤明監督の映画「影武者」等の懐かしいパンフレット資料、「札幌オリンピック資料」、「五番館関係資料」等の資料について紹介す



るとともに、昭和17年の一県一紙制により、道内地方紙11紙が北海道新聞に統廃合された経緯について、パネルや新聞の原紙を使って説明しました。

札幌オリンピックの記念品や五番館の広告を見ながら、参加者同士が当時の思い出を語り合う様子が会場のあちらこちらで見られ、まさに、その時代への「タイムトリップ」の瞬間だと感じていただけたのではないかと思います。



終了後に行ったアンケートでは、「さまざまな資料が保存され興味深いツアーでした」、「普段直接触れて見ることのできないものが見られて良かった」などといった感想を多くいただきました。

（北方資料サービス課）

令和元年度（2019年度）全道図書館新任職員研修会

この研修会は、道内の公立図書館、公民館図書室、学校等に勤務して原則1年未満の職員を対象として、図書館活動に必要な基本理念の理解及び基礎知識の習得を図ることを目的に、毎年実施しています。今年は45名の参加がありました。

当館職員のほか、道内の図書館で活躍する職員を講師として迎え、図書館職員としての心構えや図書館現場におけるノウハウを学び、さらには各地の職員と交流を図る機会となりました。

期 日：6月13日（木）～14日（金）

会 場：北海道立図書館 研修室

参加人数：45名

日 程：



講義・演習「児童サービスは図書館の入口」
手あそび演習の様子

【1日目】

講義「公立図書館入門」 道立図書館利用サービス部北方資料室長 吉原 和夏子

講義「カウンターの仕事」 新ひだか町図書館主幹（司書）佐々木 亜貴 様

情報交換「お互いの図書館を知ろう！」 道立図書館総務企画部企画支援課主任 南部 歩美

【2日目】

講義「著作権法 入門編」 道立図書館利用サービス部一般資料室資料整備課主査 今野 徹

講義・演習「児童サービスは図書館の入口」

旭川市中央図書館奉仕係主査（司書）富田 千尋 様

講義「ニーズにあった図書館づくりを目指して」 沼田町図書館主査（司書）菊池 詩織 様

講義・施設見学「道立図書館活用術」

道立図書館利用サービス部一般資料室一般資料サービス課主任 森定 理恵

事後アンケートから

- ・図書館で働くために必要な知識を身につけられて良かったです。
- ・普段なかなか交流の持てない他館の方々から色々な話を伺うことができ、有意義でした。
- ・新任だからこそその悩みを共有できて良かったと思います。
- ・細かい点まで丁寧に教えていただき勉強になりました。 (企画支援課)

令和元年度（2019年度）全道図書館中堅職員研修会

この研修会は、図書館運営・企画能力の向上、変化する図書館ニーズに対応できるスキルの習得を図ることを目的に、道内の公立図書館、公民館図書室、学校等に勤務して3年以上の職員を対象として実施しています。今年度は、まちの課題解決支援や学校支援など、「地域に役立つサービスの提供」をキーワードに研修を実施し、各講義、グループでの活動とも、好評を得ました。

期 日：7月11日（木）～12日（金）

会 場：北海道立図書館 研修室

参加人数：27名

日 程：

【1日目】

講義・演習「協働が創り出す地域の図書館をめざして」

藤女子大学准教授（特任） 下田 尊久 様



ワークショップ「授業に使える
パスファインダーをつくろう」

【2日目】

講義「地域資料の魅力を伝える～企画展示あれこれ～」

道立図書館利用サービス部北方資料室北方資料サービス課長 一戸 泰

報告・グループ討議「図書館ができる学校支援」

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課社会教育・読書推進グループ主査 西島 進一 様

北海道図書館振興協議会（H29-30年度）調査研究チーム

（道立図書館利用サービス部一般資料室一般資料サービス課長） 中田 こずえ

講義「授業に役立つ！児童生徒のための“みちしるべ”」

ワークショップ「授業に使えるパスファインダーをつくろう」

全国学校図書館協議会学校図書館スーパーバイザー 佐藤 敬子 様

（進行：道立図書館総務企画部企画支援課企画主幹（子ども読書） 伊藤 嘉奈子）

事後アンケートから

- ・時代や社会の変化によって、図書館の役割も地域との関わりも変化していくということを感じました。
- ・自治体の課題や最新状況を考えながらの企画展示を頭に入れ、資料を収集したいです。
- ・学校へは本の貸出しだけでなく、今後は授業に関わる支援も必要になるのだと思いました。
- ・現行の図書館のパスファインダーとはまた違うものができるものだなあと感じました。

（企画支援課）

最近の出来事

■「道立図書館ボランティア」について

平成29年10月18日、閲覧室のアスベストを含む天井材の剥離による臨時休館により道立図書館ボランティアの活動が中止となりました。

その後、閲覧室等オープンスペースにあった全ての資料を、アスベストを使用していない第二書庫1層へ移動し、平成30年5月31日（木）から活動場所を第二書庫に限定して、平成29年度にボランティア登録していた方のうち、活動の継続を希望された22名の方に道立図書館ボランティアの活動を再開していただきました。

臨時窓口での閲覧やインターネット予約貸出しなど業務を継続していることから、活動内容は、返却本を中心とした第二書庫への配架でした。

今年度は昨年度からの継続の方19名と新規登録の10名の計29名で資料の配架のほか図書ラベルの貼替えなどの活動を行っていただいています。

(一般資料サービス課)

■「ふるさと動画DVD」をエントランスホールで上映中！

「ふるさと動画DVD」とは、北海道150年を機に、本道の歴史や文化、アイヌの人たちの生活などを記録した、昭和の貴重な映像資料115点をデジタル化したものです。

来館された方に紹介するために、再開館と同時に1階エントランスホールで上映を開始しました。2階北方資料展示コーナーと関連する内容のDVDを中心に上映しています。

中2階北方資料室では、個人貸出しが可能なDVD73点を手に取ることができます。

ご来館の際には、ぜひお立ち寄りください。



上映の様子

(北方資料サービス課)

令和元年度(2019年度)上半期の事業一覧

	事業名	開催日	開催場所	概要	参加人数	備考
1	北方資料展示「平成の30年を振り返るー平成北海道の喜Do哀楽ー」	平成31年4月2日～ 令和元年5月6日	北海道立図書館	平成年間の道内のできごとを、当時の息遣いを表す所蔵資料から振り返るほか、多く利用され親しまれた北海道文学の作家13名を選んで蔵出しの作品を展示。また、心に残るトピックに投票する参加企画を実施	-	
2	北海道立図書館・北海道立近代美術館連携事業	①平成31年4月6日～ 令和元年5月26日 ②令和元年6月8日～ 7月28日 ③令和元年7月20日～ 7月28日 8月10日～ 8月31日 ④令和元年8月10日～ 10月14日	札幌市 (北海道立近代美術館)	相互の利用者サービスの向上を図るため、道立近代美術館で開催する展覧会に連動し、特設コーナーを設けて道立図書館の蔵書を紹介する。 ①「誕生100年・没後20年相原求一朗展～北海道立図書館の蔵書から」 ②「東山魁夷唐招提寺御影堂障壁画展～北海道立図書館の蔵書から」 ③「ちょっとアートな夏祭り～北海道立図書館の蔵書から」 ④「カラヴァッジョ展 聖なる劇場～北海道立図書館の蔵書から～」	-	
3	平成31年度北海道図書館振興協議会第1回理事会・総会	平成31年4月18日	札幌市 (札幌市中央図書館)	北海道図書館振興協議会理事会、総会及び講話	38名	講話講師：森 茜氏(公益社団法人日本図書館協会理事長)
4	北方資料書庫ツアー「鉄道資料で見る北海道の歴史」	平成31年4月20日	北海道立図書館	開拓地の足ともなった簡易軌道など、鉄道資料を通して北海道の歴史を振り返った。	23名	
5	道議会図書室・道立図書館連携展示事業	①令和元年5月7日～ 5月31日 ②令和元年6月17日～ 7月31日 ③令和元年9月2日～ 10月4日	札幌市 (北海道議会図書室)	道政にかかわるテーマで、当館と道議会図書室の資料を併せて展示 ①「平成から令和へー花開く新時代ー」 ②「北海道みんなの日展」 ③「防災力を身につける」	-	
6	北方資料展示「なつぞらの舞台、十勝を楽しむ」	令和元年5月8日～ 6月27日	北海道立図書館	NHK連続テレビ小説「なつぞら」にちなみ、当館所蔵の十勝地方に関する資料を展示	-	
7	北方資料書庫ツアー「あなたもタイムトリップ～北方資料の世界～」	令和元年6月8日	北海道立図書館	幕末から昭和時代にかけて出版された北方資料を北海道の歴史とともに紹介	18名	
8	全道図書館新任職員研修会	令和元年6月13日～ 6月14日	北海道立図書館	道内の図書館等勤務1年未満の職員を対象とした、新任職員向け研修	45名	
9	北方資料展示「HOKKAIDO × SPORTS」	令和元年6月29日～ 9月29日	北海道立図書館	北海道で初めて行われたスポーツや1972年(昭和47年)に開催された札幌冬季オリンピックなど本道のスポーツの歴史に関する資料を展示	-	
10	令和元年度(2019年度)北海道読書推進運動協議会総会	令和元年7月4日	札幌市 (かでの2.7)	平成30年度報告、令和元年度(2019年度)計画など	9名	
11	全道図書館中堅職員研修会	令和元年7月11日～ 7月12日	北海道立図書館	道内の図書館等勤務3年以上の職員を対象とした、中堅職員向け研修	27名	
12	令和元年度子ども向け書庫ツアー	令和元年8月9日	北海道立図書館	図書館での資料の探し方の説明のほか、主に昭和時代に出版された子ども向けの資料を中心に紹介	18名	
13	第60回北海道図書館大会	令和元年9月4日～ 9月5日	札幌市 (札幌市教育文化会館)	基調講演、分科会、ブース展示等	262名	基調講演講師：小路 幸也氏(小説家)
14	(道立図書館まつり) ※台風接近の影響により中止	令和元年9月23日	北海道立図書館	体験教室や朗読、読み聞かせ、館内アートツアー等さまざまなイベントを実施	-	

掲 示 板

<新しい条例設置館紹介>

足寄町図書館レイカ

〒089-3711 足寄郡足寄町南1条5丁目3番地 TEL：0156-25-3189 FAX：0156-25-4303

URL：https://www.town.ashoro.hokkaido.jp/ki/book.html

図書館設置条例施行年月日：2018年11月18日

現用館の竣工年月日：1983年8月31日

専有延べ床面積：600.0㎡ 蔵書冊数：37,906冊 備考：町民センターに併設

蘭越町花一会図書館

〒048-1301 北海道磯谷郡蘭越町蘭越町880番地9 TEL：0136-57-6085 FAX：0136-57-6085

URL：http://lib-eye.net/rankoshi/

図書館設置条例施行年月日：2019年4月1日

現用館の竣工年月日：1997年2月15日

専有延べ床面積：474.9㎡ 蔵書冊数：44,434冊 備考：単独館

鶴居村図書館

〒085-1206 北海道阿寒郡鶴居村鶴居東5丁目3番地 TEL：0154-64-2200 FAX：0154-64-2900

URL：http://lib-eye.net/tsurui/

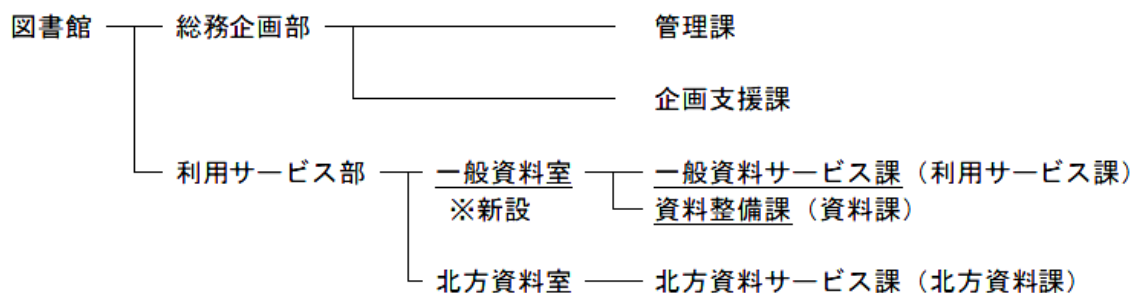
図書館設置条例施行年月日：2019年4月1日

現用館の竣工年月日：2006年4月1日

専有延べ床面積：533.0㎡ 蔵書冊数：71,393冊 備考：鶴居村ふるさと情報館みなくろに併設

<機構改正>

令和元年（2019年）6月1日から、利用サービス部に一般資料室が新設され、利用サービス部の課名が次のとおり変更になりました。※（ ）は、旧課名



<職員人事異動>

退職 平成31年3月31日付け

管理課主任 上田 雅行 (再任用任期満了)

転出 平成31年4月1日付け

利用サービス課企画主任 工藤 嘉一 (生涯学習推進局生涯学習課主査)

管理課主事 青柳 まゆ (学校教育局教育環境支援課主事)

転入 平成31年4月1日付け

管理課専門主任 長尾 かおる (教職員局教職員事務センター専門主任)

管理課主事 近江谷 萌子 (美深高等養護学校事務職員)

退職 令和元年5月31日付け

館長 武田 信吾

転出 令和元年6月1日付け

主査 (総括) 工藤 健志 (教職員局教職員事務課主査)

転入 令和元年6月1日付け

館長 岩 淵 隆 (石狩教育局長)

主査 (総括) 飯沼 恭子 (総務政策局施設課主査 (総括))

北海道立図書館報 第207号

令和元年(2019年)9月29日 発行

北海道立図書館長 岩 淵 隆

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL: 011-386-8521 (代 表)

ダイヤルイン

386-8531 (総務企画部)

386-8522 (一般資料室)

386-8523 (北方資料室)

FAX: 011-386-6906

E-mail: support@library.pref.hokkaido.jp

ホームページ: <http://www.library.pref.hokkaido.jp>